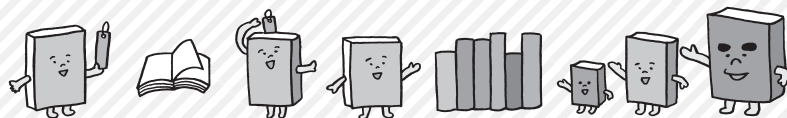


# 図書館へ 行こう! 9月号



9月、長月となりました。だんだんと虫の歌声が聞こえてくる季節になりましたね。野山に出かけて虫の鳴き声を楽しむことを「虫聞き」といいますが、平安時代にはすでに鳴き声を愛でる文化があったようです。さまざまな音があふれる現代ですが、自然のオルゴールを聞きながらゆっくり読書をしてみませんか？季節の本を揃えてお待ちしております。

## 今月の読み聞かせ

|              |          |                      |
|--------------|----------|----------------------|
| おはなしひろば      | 毎週火曜日    | 10:30~11:00          |
| おはなしルーム      | 竹田幼稚園    | 9月 8日(休) 14:00~14:30 |
|              | 南部幼稚園    | 9月15日(休) 14:00~14:30 |
| たけのこ文庫のおはなし会 | 9月10日(出) | 15:00~15:30          |

## 開館のご案内

- 竹田市立図書館(TEL&FAX 63-1048)**  
開館時間 午前10時~午後6時/休館日 月曜日・第4金曜日
- 荻駅交流館図書室(TEL&FAX 68-2200)**  
開館時間 午前10時~午後6時/休館日 土・日・祝日等
- 久住図書室(TEL 76-0717 / FAX 76-0724)**
- 直入図書室(TEL 75-2211 / FAX 75-2217)**  
開館時間 午前8時30分~午後5時/休館日 土・日・祝日等

## 新刊のご案内

### 【一般書】

- ・N/A [文藝春秋] 年森 瑛
- ・ナイトシフト-新宿花園裏交番- [祥伝社] 香納 諒一
- ・幽霊認証局 [文藝春秋] 赤川 次郎
- ・朽ちゆく庭 [集英社] 伊岡 瞬
- ・小さいわたし [ポプラ社] 益田 ミリ
- ・両手にトカレフ [ポプラ社] ブレイディ みかこ
- ・今日もごきげんよう [マガジンハウス] 松浦 弥太郎
- ・私解説-ペン一本で生きてきた- [新潮社] 瀬戸内 寂聴
- ・「私」という男の生涯 [幻冬舎] 石原 慎太郎
- ・あっちこっち食器棚めぐり [新潮社] 伊藤 まさこ
- ・ホットサンドメーカーで作れる最高に美味しいレシピ [扶桑社] 野川 彩

### 【児童書】

- ・ちびちびパンダ [金の星社] みやにし たつや
  - ・バスが来ましたよ [アリス館] 由美村 嬉々 文/松本 春野 絵
  - ・ドーナツペンタくん [白泉社] 柴田 ケイコ
  - ・かきごおりおまちどおさま [WAVE出版] ふくだ じゅんこ
  - ・わにくんのだめだめぼうし [みらいパブリッシング] すみくら ともこ
  - ・きょうは選挙の日。 [汐文社] 塚本 やすし
  - ・ぼくは勇者をたすけたい [童心社] 中松 まるは 作/めばち 絵
  - ・生まれかわりのポオ [金の星社] 森 絵都 作/カシワイ 絵
  - ・ドキッ! 心理テスト1000 [成美堂出版] マーク・矢崎 治信 監修
  - ・すごいゴミのはなし-ゴミ清掃員、10年間やってみた。- [学研プラス] 滝沢 秀一文/スケラッコ・萩原 まお 絵
- 他 300 冊ほど入りました。



### 「はぐれ鴉」

赤神 諒 集英社

一般書



寛文6年、豊後国・竹田藩で城代一族が惨殺された。逃げのびたのは、城代の幼い次男・次郎丸ただ一人。次郎丸は惨殺の下手人で叔父の玉田巧佐衛門に復讐せんと、江戸で剣の腕を磨く。14年後、名を変え、藩の剣術指南役として因縁の地に戻るが……。

城代一族郎党、24人皆殺しの真実とは？豊後国・竹田を舞台に繰り広げられる復讐劇。誰が敵で、誰が味方なのか。隠し通された秘密が明らかになるその時——。『小説すばる』連載を加筆修正。

### 児童書

### 「まだまだあった!!」

### アレにもコレにも!モノのなまえ事典

杉村 喜光 文/大崎 メグミ 絵 ポプラ社

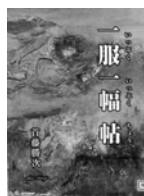
ケーキの上の小さな銀色のアレ、かき氷を食べると頭がキーンとなるアレ、のど自慢で使われるコレ、帽子についている網目のコレ……。ふだん何気なくみている「アレ」や「コレ」が、名前がついた理由とっしょにクイズ形式で紹介されています。



### 「一服一幅帖~田能村竹田から川端康成まで~」

郷土の本

首藤 勝次 編集・発行



著者が昨年5月からFacebookに投稿していたものの書籍化。「幅」とは書画など掛け物の数え方。南画や掛け軸など、著者の所蔵品の中から無作為に選んだ作品を一幅、お茶を一服しながら紹介していくというもの。南画に対する深い造詣や、入手の際のエピソードなどを交えて綴られる、こちらも一服しながら読みたくなるような味わい深いエッセイです。

### 「大分県先哲叢書 田原淳-世界の心臓学を拓いた人-」

島田 達生 文/佐藤 寛子 絵 大分県教育委員会

大分県教育委員会が発行する「大分県先哲叢書」の子ども向け普及版。心臓が規則正しく動くための仕組み「刺激伝導系」の存在を明らかにし、「ペースメーカーの父」と呼ばれた国東市出身の田原淳の人生と功績を挿絵付きでわかりやすく紹介しています。



## 読み聞かせにおすすめの一冊

### 「ようかいのもり たぬきクリニック」

長谷川 あかり 大日本図書

ふかいふかい森のおくにちょっと変わった病院があります。「1ばんのかた しんざつつへ おはいいろください」そう呼ばれてやってきた女の人はなんとろくろくび! ようかいのみんなにたよりにされる、たぬき先生がかつやくする楽しいおはなしです。

